

台風によるフィリピンの大雨について

1. 概況

フィリピンのルソン島では、9月末以降、台風第16号、第17号が相次いで襲来し、これらの影響で大雨となった。第16号については約300人が死亡するなど被害が伝えられた。

2. 台風第16号、第17号と大雨の関連

フィリピンのルソン島では、台風第16号（図1）の影響で、9月末に南部を中心に大雨となった（図2）。マニラ首都圏のケソン市では、26日の日降水量が455mmに達した。この台風で、295人が死亡、39人が行方不明と伝えられた（フィリピン政府災害調整会議10月6日発表資料）。

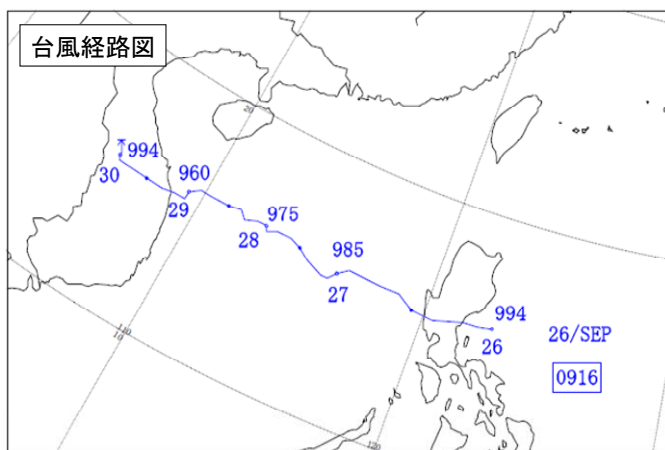


図1 台風第16号の経路（9月26日～30日、速報）
経路にそった2桁、3桁の数値は、日、中心気圧（hPa）をそれぞれ表す。

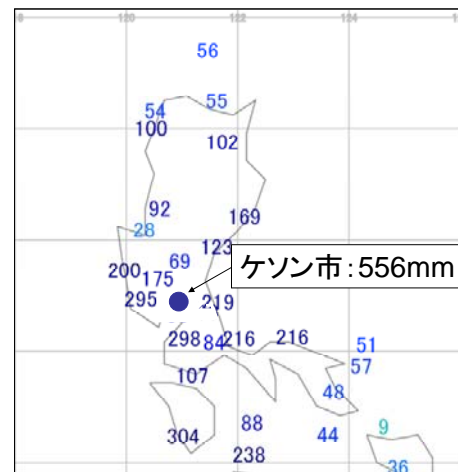


図2 フィリピンのルソン島の
9月25～30日の6日間降水量（mm）
（世界標準時）

また、台風第17号（図3）の影響で、10月初めより北部を中心に大雨となった（図4）。バギオ市では、3日の日降水量が531mmに達した。この台風で、16人が死亡、2人が行方不明と伝えられている（フィリピン政府災害調整会議10月7日発表資料）。

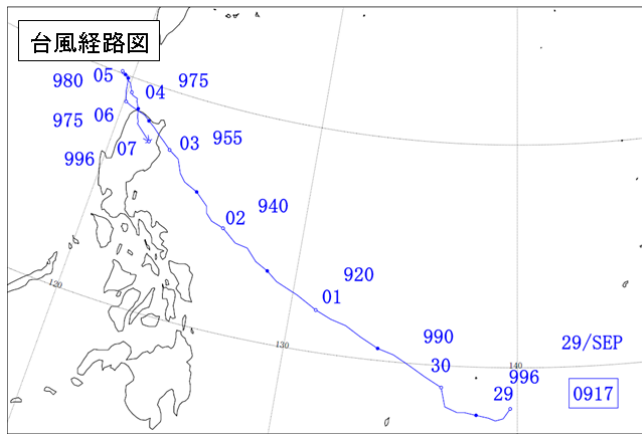


図3 台風第17号の経路(速報)
数値の意味は図1に同じ。

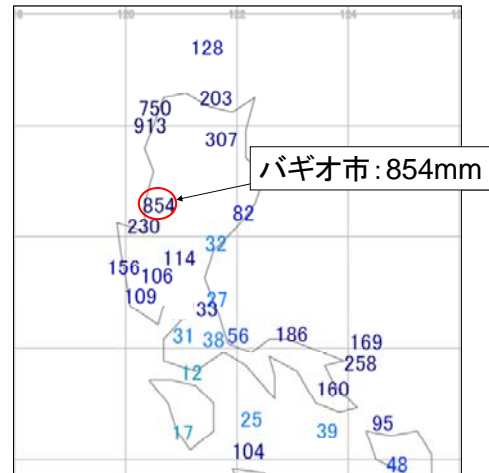


図4 フィリピンのルソン島の10月1～6日の6日間降水量 (mm) (世界標準時)

3. 最近12日間の降水量

ルソン島の各地では、最近の12日間、100～1000mmの降水量が観測された(図5)。平年値(1971年～2000年の平均値)が整備されている地点についてみると、平年の2～6倍の大雨となっている。

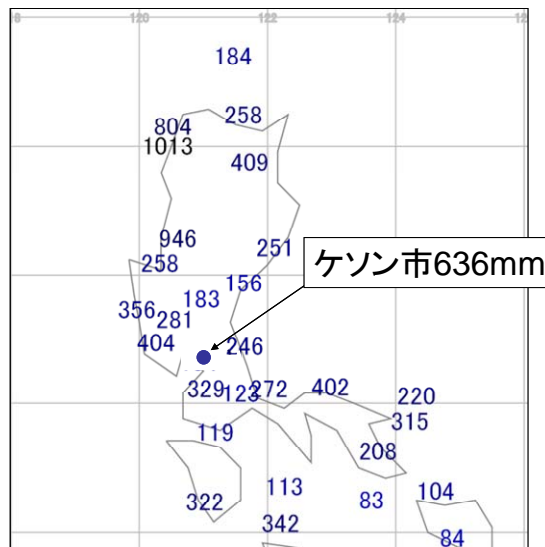


図5 フィリピンのルソン島の12日間降水量 (mm)
(9月25日～10月6日、世界標準時)